

より良い教育環境を目指して

『小野中学校整備基本構想』

小野町教育委員会では、少子社会により、子どもの数が急速に減少している状況の中で、より良い教育環境を提供するために、幼児施設、小学校、中学校の環境整備について、平成18年8月に「小野町教育環境整備の基本方針」を定めました。

この基本方針に基づき、小野中学校校舎の改築を早期に実施し、安全性の確保、施設環境の改善、教育効果の向上を図るため、「小野中学校整備基本構想」を策定しました。

以下、基本構想に掲げた小野中学校整備に係る概要をお知らせいたします。

施設整備の基本方針

- ① 基本的な学力と豊かな人間性を育む教育環境の整備
- ② 安全、安心で快適な施設環境の整備
- ③ 学校給食による健康的な心と体づくりの推進



建設予定地となる現在の小野中学校校舎

④ 地域との調和、コミュニティの拠点としての施設整備

計画概要

●校舎	12学級 (30人程度学級) 特別支援学級2学級
学級数	12学級
延床面積	約5,800㎡
建築面積	約2,000㎡
構造	木造又は混構造 (木造及び鉄筋コンクリート造)
階数	2階又は3階

●屋内運動場(体育館)
体育館・柔剣道場を複合化し、一体的に建設

●建設予定地
現在の小野中学校敷地
(一部隣接地を取得し、学校敷地(建物敷地)を拡張する予定)

●事業計画予定年度
基本設計・実施設計
平成20年度～21年度

校舎棟建設
平成21年度～23年度

屋内運動場建設
平成23年度

周辺整備
平成24年度

教育環境整備に関するご意見などありましたら、ご連絡ください。

◆問い合わせ

教育課 施設整備室
☎721-6780

廃油をリサイクルしましょう



夏井川に飛来する白鳥

●廃油を捨てると川などが汚れます。

●廃油をごみとして捨てなければ、焼却場の炉が長持ちします。

●リサイクルした廃油は車の燃料にもなります。

夏井川の健全で豊かな水環境を持続するため、これまでに流域の自治体、ボランティア団体などが様々な活動を行ってきた結果、良好な環境を維持しております。一方では河川へ廃家電製品、廃タイヤなどの不法投棄が後を絶ちません。

町民の皆さんも夏井川流域の一員として、夏井川の環境維持にご協力をお願いいたします。

特に、家庭で使用済みの天ぷら油(廃食用油)などを台所から排水溝に流したり、土中に埋めたりなどの行為は絶対に行わないでください。例えば、廃食用油1800CC(牛乳瓶1本分に相

当)を浄化するには浴槽3000杯分(約60トン)の水が必要であるといわれます。

廃食用油などの処理は、一般的には可燃ごみとして処分しますが、最近は町内においても、バイオ燃料として取り扱う企業が出てきました。

夏井川は流域住民の財産です。川の豊かさ、美しさを住民が一体となって守っていききたいものです。

上水道水の水質検査結果

3月に実施した上水道水の水質検査(水道法20条水質検査)結果は、左記のとおりです。

◆問い合わせ

地域整備課 管理水道担当
☎721-6936

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0 CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	6.8 mg/l
有機物(TOC)	5mg/l以下	0.4 mg/l
pH値	5.8～8.6	7.1
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	<1度
濁度	2度以下	<0.1度